

令和4年度 釧路高専出前授業 指導案

中学校 1-2 年生向け

テーマ：「空間の発見 折り紙建築」

講師：建築学分野 平澤 宙之

1. 指導目標 平面から立体的な形を造形することができる。ものの姿かたちをイメージできる。
2. 指導内容 紙に切り込みや折り、曲げを加えることで三次元的な形が生じる。本授業では簡単な折り紙建築の作品制作を通して、建物の形を造形するとともに、光の差し込み方や陰影によって生ずる空間について理解する。
3. 学習キーワード 中学校美術：A 表現(2), B 鑑賞(1)

4. 授業展開

段階	学 習 活 動	留 意 点	時間
導入	1. 自己紹介（学校紹介含む）と折り紙建築の説明を行う。平面的な紙から立体的な形が造形できることを見本の例示などを通して児童の興味・関心を引く。 (プロジェクター、スクリーンを使用してスライドを映す場合もあります)		7 分
展開	2. グループ学習（4 人程度）の形態をつくり、用紙（初級）・道具類（カッター、カッターマット、スチール定規等）を配布する。 3. 紙の切り方、折り方の要点について説明する。 4. 生徒はカッターを用いて用紙の線に沿って切る、折るなどの作業を行う。教員は机間巡視しつつ指導を行う。 5. 早く作品が完成した生徒には別途、難易度別に用意した複数の作品用紙（初級～上級）から自由に選ばせ、任意の作品を別途作成させる。	カッターを使用するので、生徒のけがや事故に注意	35 分
まとめ	6. 本時のまとめ、後片付けを行う。		8 分

計 45 分